

めざして、大軍がおしよせてきました。

八月二十三日の朝、会津若松の城下は、早鐘はやがねの音が鳴りひびいて、大混乱だいこんらんになりました。前からのとりきめで、早鐘はやがねが鳴つたら、町人ちやうじんは会津若松から立ちのくこと、武士の家族はお城にはいることになつていましたが、早鐘の鳴るよりも早く、敵が城下にせめこんできたので、町中は大きわぎになりました。

新しく家老かろうになつた海老名季昌えびな すえまさは、このとき、北出丸きたでまるを守る隊長たいちやうをしていましたが、殿様どのさまを初め、近くに出かけていた

